

【ぜんぶ嫌い！】

（好き、好き、好き、好き、好きイイイイ……！）
（ああ、話しかけようかな、どうしようかな、話しかけちゃえ！）

（きやあーっ呆れた流し目で見てる！ 私を！ えろつ！ やばつ！
えろすぎて全身から鼻血出ちゃう！）

あなた！ そう、あなたです、なんですかツ、そのだらしない身体はー！

ちょっと、こっちを見なさい！

不摂生！ 運動不足！ 心の乱れは身体の乱れです。
その不快な姿を私に見せつけるなんて、言語道断ですよ！

（ああ、なに言つてんの私、言いがかりにもほどがあるでしょ、
めちゃくちゃイヤなやつじやん……）

……なんですか、ジロジロ見て……。誰だよお前つて顔ですね。
私は生徒会長、金無香澄です。

（あなたが大好きな金無香澄です！ よろしく！）

（わあーわああーどうしようどうしよう誘つちやつた！
二人つきりて！ 二人つきりて言つちやつた！ もはや痴女じやん！
どうしようどうしようどうしよう）

フンッ。どうせあなた、心の中で私を見下しているのでしょうか？
なにが生徒会長だ、ただのイチャモン・ヒス女じやねーか、と。

（はいその通りです！ 完全にイチャモン・ヒス女です！）

あなたが好きすぎて、会話をしたくて、でも理由が見つからなくて、
結局ハチャメチャなこじつけで話しかけてしまふ頭おかしい女です！）

私は生徒会長として、風紀委員の活動に注力しています。

彼らと連携を密にすることで、あなたのような視界にも入れたくない不快物を徹底的に糾弾し、是正し！ この学校をルーヴル美術館のごとく美しく改善し、実りある学校生活を――――――つて、聞いてるんですか、このすつとこどつこい！

(いいいいやそれよりッ！ そんなことよりッ……、な、なんて——)

あ、あの、何をして
……へつ？？

……ツなんて、不摂生な身体。たるんだお腹に、締まりのない四肢。

そんな、そんなの……。

(えつ、えろすぎるでしようがああああああツ……!!)

なんであなたはそんなにツ、私に突き刺さる身体してらっしゃるの？
オオオツ……やばい本気で鼻血出ちやう、むりむりまだむり、

これは、これは……エロスの宝石箱やあ～～～！)

ま、まつたく——本当に、言葉を失うくらいの身体ですね。

どんな食生活をしたら……ここまで情けない身体になるんだか。

(汗でぬらついて、お、おパンツの上にお腹が乗つかつて)

うツ……あ、汗、クラクラするニオイ、ああ、これ、だめ)

スウウ、……ツオウ……、

は、鼻がツひん曲がります。不潔です、不快です！

健康チエツクはもういいですツ、早く服を着直してくださいツ！

おツおほんつ、おほんつ！

ツ……私の警告を無視して、あまつさえ履けという命令にまで背きますか。

そんな、……お粗末なものを丸出しにして。

いいでしよう。あなたはンフフフツ、……コホン、教育が必要のようですね？

(うわあ、ニヤニヤが抑えきれないツ、どうしようつい笑っちゃつた、

おかしな女だと思われたかな？ だつて仕方ないじやん、目の前に、ぼ、
勃起おちんぽが、彼の包茎勃起ちんぽがあるんだもの……)

……へえつ？ な、なにをグズグズしてんですか。
ていうかなんで近づくんですか。寄らないでくださいキモイです。

(えなに？ なに？ なに？ もしかしてついに怒らせちゃつた？

うわつわわ、私、ぶん殴られちやう！？ 右アッパー左フック？

ああ、そんなことされたら私、うれしすぎてイッちゃうかも……、え？)

……そこに座りなさい。……そうです、そこは、生徒会長である私の席です。
そこに座ることの重圧、責任感、それを全身に感じていただきます。

(さっきまで私が座つてたうえ、妄想と興奮でじつとりと湿りまくつてます。
そこに座つてほしかつただけです。ごめんなさい。
フフ、さながら信長の草履を温めた秀吉レベルの機転ね)

虫唾が走るほど不快です、が……これであなたはもう、私には逆らえない。

……では次は、背もたれの外側で後ろ手を組みなさい。
……そうです。素直になつてきましたね。

その従順な心を、身体ごと縛りつけてあげましょう。

辛い、ここになわとびがあります。ククク……手も足も縛つて、

あなたの情けない恥ずかしいところ……隠せないようにしちゃいますから。

（ちなみにこのなわとび、私が初めて二重跳びを達成した思い出の品です、

大事なお守りであなたを縛るなんて、私はなんてハレンチな女……）

……よし……。

アツハハ♥

いい格好になりましたねえ？ これまでの不遜な態度、

それがどれだけ愚かしいものであつたかわからせてあげましょう。

覚悟することですね、んふふ♥

3. 繁縛密着タマフェラ手コキぜんぶ好き

さて、さて、ふふ、これでもうあなたは、私には手出しできない。

無様ですね。なんと間抜けな格好でしよう。

しかしその縛をほどいてしまえば、あなたは自由。

腕力にものを言わせて、私に復讐するに違いありません。

ならば、こうしてしまえば……。

……はあ……！ 先ほど、急に下半身を露出したことといい、

あなたが異性に対し、どれだけ邪な感情を抱いていたのか、よくわかりました。

これは想定外の予想外です。今撮った写真は脅しにはなりえない可能性が高い。

身体も神経も太巻きのあなたには、どんなプレッシャーも、

蛙のツラヘ水というやつでしよう。

だからと言って、危険すぎるあなたを野放しにするわけにはいけません。

生徒たちを守るため、学校の風紀を守るため、私は、粉骨碎身する覚悟です！

……つまり、あなたの性欲処理を、私自らしてあげましょう！

（……いろいろあつたけど、これは完ぺきな導入。完ぺきな理由。

すなわち、私の痴女紛いな行為は正当化される……！

ああ、おちんぽ、目の前におちんぽ、やつと、彼のおちんぽを、私は……）

あつ持ち悪い。吐き気を催しますね。

恥ずかしい姿を記録されているのに、相変わらず勃起は収まらないのですね。

こんな写真が保存されたスマホ、あまりの汚さに壊れてしまいそう。

（えつへへ、彼のおちんぽ丸出し全裸写真！ これ家宝にしちゃお）
ああもちろん、あなたがこんな情けないおちん……、ペニスを持つていてることも、
しつかり、ズームで、画面いっぱいに……。
……う！？

（嘘、もしかしてこれって……）

……ちよつと、どうして……ペニスの先端が光っているのですか。

ツア、あなたは、こんな目に遭つて、写真まで撮られて、……欲情した。

とでも言うのですかつ？

きつてしまよ。このツ……変ツ態。きつしょ。気持ち悪すぎる。

（だいっすき♥）

スウウウウツ……はあああああ。

うううツ、くつさああうツ……！ こんな臭いものツ、人生初めてですツ。

こんなものぶらさげて生きてるなんて信じられない。

わツ私の、私の唾液で、淨化しなければ。
はーツ、はーツ、はーツ、けがらわしい、

——
んぐつ
♥
♥

んぐおツんざい♥ じゅふツじゅふツじゅふツじゅふうツ♥

んつ、れおれおれおれおれおつ
あむうツ……ツんんんんぐツ、んツ……!
フーツ！ フーツ！ フーツ！ フーツ！

フーツ！ フーツ！ フーツ！ フーツ！ フーツ！ フーツ！

（ちんぽちんぽちんぽちんぽちんぽちんぽおおおーーーーーツ
ちんぽつ、ちんぽつ、ちんぽつ♥ ちんぽおいしいつ♥
おおうツ……これやばツ、喉奥に亀頭あたつて、カウパー
のどちんぽと彼ちんぽキスしちゃつてるうツ♥）

んぶあッ、はーッ、はーッ、はーッ、けつ、けがらわしいッ、
なんて汚らわしいッ……はあッ、はあッ、でも、

私は生徒会長なので大丈夫です、この口と言葉で、生徒たちを指導する私が、あなたのちんぽぐらいでえツ、けがれ負けることなんて、ありえませんっ！

（あああ～～フエラって、彼そのものを咥え込んでるみたいで、口の中、だけじやない、脳みそまで満たされて、こんなに気持ちいいんだ、最高、苦しい、臭い、それが全部おいしくて幸せで、ああ～～もう、ほんと、なんも考えらんなくなっちゃう、ちんぽしやぶるのしゅきいい～……♥）

遠慮もせずにツ、はあツ、ちんぽおつきくして、私の口は、あなたのオナホールじやないんですよ。

あああ、タマタマもパンパンに膨らませ

無造作に毛まみれのタマタマ、これこそ諸悪の根源、私の敵です。

大事なのは敵を知ること、すなわちこれの匂いを覚えなければ——スウウツ。

はあツくつさすぎツ ♡ ジンツ、ジンツ、くさツ、くつしきツ、何この匂いツ、

頭おかしいの？

こんなのがいたら鼻がひん曲がるツ、精神に異常をきたしそおスンスンスン、はーつ、はーつ、ツあむううつ♥ んぐツ、んぐつんぐんぐつ、んぐうつ♥

ぶえツ、はツ、はツ、おえツ、口の中も、口周りも、縮れた陰毛がついてしまつたじやないですか。どうしてくれるんですか。

（ああ私つたら、彼のチン毛にまみれて、やばい、幸せすぎて、頭おかしくなつちやいそ、ううんなつちやつてる、でも、もつと、もつと）

ああまたたく、そんなに汗を流してえ、肥満だからって汗つかきすぎです。
神聖な生徒会室が汚れてしまうじゃないですか、れろオ……♥

ちゅツ、んむ、れおツ♥はあつ♥じゅるつじゅるるつ、んう、んえ♥ああこつちも、汗を垂らさないでつ、んれおつ、ちゅむつ、んえつ、えおつ♥

ちゅつ、じゅるるるるツ♥んつ、はああつ……♥
ちよつと、なにびくびくさせてるんですか。早くおちんぽ鎮めなさい。

こんなにガチガチで……、ドクドク脈動して、何を訴えてるんですかあ？

んうぶはつ、はあツ、はあツ、はああツ、まつたく、私の口の中でツ……

ああ、もうつ、早く小さくしなさい。この皮被りの根本に溜まつた欲望、

せんぶ……搾り取つてあげますからあつ。

はあッ……私の唾液とツ、あなたの我慢汁でおちんぽデロデロじゃないですか、ぐつちやぐちやと下品な音を立てて、どこまで品性のないおちんぽなんですか。

こんなものに1秒も長く触れていたくありません。ましてや握って擦るなんて。さっさと終わらせたいので、私も本気を出します。

はああ好きイイい／＼ツ(♥)

んツはあーツ、はあーツ、なんですか、イクの？ もう出しちやうの？
きつもツ……、きつたなツ……せめて私の手を、生徒会室を汚さないよう、
最善を尽くしてください。

はあツもう、これほど嫌悪感に包まれたことはありませんよツ。
あなたのことなんて大つ嫌いですツ。生徒を守るためにでなければ、
こんなこと絶対にしたくないツ、ほんと無理ツ、気持ち悪いツ……！

はら、イキなさいツ、イキなさい、イケツイケグズツ、童貞ツ、キモデブツ、
イケツ、惨めにイケツ、イケツ、イケツ、イケツ、イケツ、イケツ、イケツ、
イケイケイケイケイケイケイケイケ！

(イ つ て つ、 イ つ て く だ さ い ツ、 お ち ん ほ か ら き も ち い の 出 し て く だ さ い
い い よ つ、 イ つ て い い よ、 イ つ て、 イ つ て、 イ つ て、 イ つ て つ
イ け イ け イ け イ け イ け イ け イ け イ け イ け イ け イ け イ け
♥)

(私の舌で、おちんぽいいっぱい気持ち良くなつてくださいねつ
ツああ好きツ、だいしゅきでしゅつ♥ なんでそんなに素敵なの?
あなたの彼女になりたいよ、性奴隸でもオナホでも肉便器でも、
なんでもやるからおそばに置いて♥ いつそあなたのママになりたい
私の身体、ハツでもあなたの好きこしてましハの♥

ああ早くつ、ザーメン見せて、あなたのザーメン見たいつ、
真っ白童貞ザーメンこの手で搾り取つて、どうどうになつた手え、
あなたの目の前で舐めてみせたいのつ♥ 下品な姿見せつけたいのつ♥

……汚すなと言つたのに、床にも机にも、私の手にも、こんなに……。こんなものをぬぐつたティッシュが、ゴミ箱に存在するというだけで、身の毛もよだつほど不快ですよ。

ん……じゅるつ、れお、んえ、れおつ……んう、ん、ツん……。
んぐ、んぐんぐ……ん、んん、くちや、くちや、んぐ、んぐ。

（ぎきゅツ……）

……いま私の体内に、あなたのきつたない、まづいザーメンが入りました。

あまりのまさに、鳥肌が止まりません。最悪の気分です。

どうですか、こんなものを嫌々飲んだ異性が目の前にいるのです。

少しは罪悪感というものを覚えましたか？ 人間のクズが。

（もつともつともつと、お腹いっぱいになつても飲みたいです。

今度はおちんぽから直接飲ませてください。あなたのおちんぽミルク、
毎朝飲んだら、寿命が5億年くらい伸びちやいそう……）

あなたのことは——

……はあ。結局、最初から最後まで、あなたは長所も魅力もなにもかも、
一切持つていなことが分かりました。

この指導を通して私が感じたことを、改めてあなたに伝えましょ。

ふふ、とりあえずは……縛りましようか♥ あなたを自由にさせておくと、
襲われてしまいかねません。そこに座つて待つていてください。
えーと……なわとびは……。

（せんぶ嫌いツ……。
（せんぶ好きつ♥）

ん、なにをしているのですか——つてえええツ！？ なツ、んで、脱いでツ、
わつ私の指示無しに、そんな勝手は許しませんよツ！
つていうか、なんでもうギンギンにしてツ……。

4.最高に幸せな復讐・パイコキレイプ編

（なにつ、なにつ、なにが起こつてるのつ？ これつええと、ああつだめだ、
よくわからないつ、もしかしてだけど、もしかしてだけど、わ、私、
……ほんとにレイプされちやう……？ 待つて、急に怖くなつてきた……！）

そこの不純極まりない生徒！ 止まりなさい！
どうもこんにちは、釜無です。相も変わらず卑しい風貌ですね。
……用事ならあります。決まつてているでしよう？

今日も生徒会室でお説教ですよ。当然、拒否権はありませんからね。
……む。ずいぶん素直じゃないですか？

私の指導がよほど気に入つてしまつたのですか？ ツンふ♥

わ、た、し、の！ おかげで、あなたは健全な学校生活を営めるのですよ。

（えへへ、あの日以来、彼は私に笑つてくれるようになつた。好きい。

ていうか、これもう実質カツプルだよね。なにしてもいいってことだよね。
わー、今日もいっぱいイチャイチャしちゃおつと♥）

安心なさい。今日も生徒会はお休みです。

私たち以外……誰も来ませんから♥

……さあ、早く生徒会室へ行きましょう。

イ
い
い
い
い
い
い
い
ツ
・
・
・
!

（「あッわたしッ、今ッ、全裸の彼にッ、抱きしめられッあ、やばッ、イグッ
イグッ！ イグイグイグイグイグううう～～～ッ！」）

ツぐツ……あ、はあーツ、はあーツ、はあーツ、やべてください

そんツな……はあツ、はあツ、汗まみれのツ身体でツ、裸でツ抱き着くなんて、なにツ考えてるんですかツ……！　はあツ、はあツ……！

(ああ、イッちゃ、った、全身、臭い肥満と臭い汗に包まれて、わたし、子宮が、膣が、絶頂を選んじゃった、やつぱり私、あなたが大好き、ああでも、どうして、私って、こんなことをずっと望んでたはずなのに、なんで私、恐れてるの？ 生徒会長だから？ 風紀委員だから？ それとも、……女だから？)

えつ、あ、やツ、やツ……！ やめて顔を近づけないでツやだあツ！
これ以上ツ、罪を重ねたらあなたツ、学校を追放どころじや済みませんよツ！
あつあああンむうンんんんつ……！

んぶツ、んんつぐつ、んえつ、んつ！ んんんんつ！ んんつぶえつ、
ンツんんつぐつ、んええつ、んつ、ンブうつ、んねえつ、んつ、んつ！
ンうツぐう、んんえつ、えおつ、んえうつ、んんつ、んおつ、んんつ……。
（……ふあ……あ、きしゅ、されてりゅ……！ くつさい、きたないお口、

とろけるみたい……、頭がどうにかなっちゃいそ、ああ好き、好き……（

ぶえあツ……はあツはあツはあツはあツ……。ツは、離れなさいツ！

くツ……私はあなたに、確かに厳しいことを言いました、

しかしそれは、あなたを真人間へと改善させるためでしたツ、

あなたに常識はなくとも、まだ良識は微かに持つてゐるのだと信じてたのに、もう、救いようがないッ……絶対に許さない

ツく……やめ、なさいツ……！　ツやだツ、脚にもスカートにも、

そんな汚いものツ、くつつけないでツ……！ 染みにならちやう！ そ、その腐つた欲望を、私にこすりつけるのがそんなに楽しいのですかツ……？

あなたはツ、あなたは私に何を求めてるのですか？
（ふあうツ） 勤起（きらんぱく）、甲（つね）付（うつ）れてろツ、

包茎おちんぽがツ、私の太ももでぬるぬるしてツ・
興奮、してくれてるんだ、欲情してくれてるんだ、
私から襲わなくたって、彼は、あなたは私をツ……、

女として、見てくれてるんだあ……

もしかして私……メスとして、彼の野性に、……畏怖しちやつてるの……？

はあツ、はあツ、はあツ……。

ツ……んなつ、ここで脱げと？ そんなツ、できるわけないでしよう！？

ここは神聖なる生徒会室で……いやそもそも、どこであろうと、

あなたみたいにケブの前で素肌を晒すたなんて、
ありえません。

きやつ、いやツ何をツ、ああツやめてくださいツ！ ひいツあ——

きやツああ！？ なツなにツあツ、やだツ、離してえツ！

はあツ、はあツ、はあツ……。ツあうう、ひ、ひどい……。

こんなツ……屈辱的な格好で、両手を縛るなんてツ……。

男の人に裸なんてツ……見せたことないのにツ。

ツ……み、見ないでくださいツ！

（床が冷たいツ……お尻が変な感じする。私の身体が熱すぎるのかな？

いやそれよりどうしようつ……。

いま私つ裸つ、生徒会室で、彼の目の前でつ、すっぽんぽんにされてツ、

両手をバンザイして、机に縛られてツ、おっぱいもおまんこも隠せないよツ、嬉しこれど、恥ずかしくて、怖くて、気持ち良くて、

わ、私、どうなつちやうの？ ああうつ、動くとおっぱいが揺れちやうツ）

ふいツ。来ないでツ、来ないでよツ！

（来てほしいツ、来てほしいけど、でも、ああ、あああ、

……えつ？ か、彼が持つてるのつて……）

そのボトル、まさかローション！？

なツなんでそんなもの持ち歩いてるんですかツ。変態つ、変態つ！

あ、や、だツ……そんなぬるぬるの手、近づけないでくださいツ……！

ツく……！ はあツ、はあツ、……ツん……！

か、感じてるわけツないでしようツ、んんツ、こんなけがらわしい野太い手に、

自分のおっぱいを好き放題されてツ、んツ、誰が感じるつていうんですかツ。

私はそんなツ変態じやないツ……違うツ、私はツ、私はあツ……！

ツいやツ……そんなことツ言わないでえツ、私のおっぱいはツちよつと、

平均より大きい、だけツ……下品じやないツ、エツチくないツ！

やめてツ、変な言い方ツしないでツ、んツ、ちがツ、ふ、不快なだけ！

ツあ、あツ、なんで、おっぱいにローションツ、んツ、うう……！

はあツ、はあツ、あ、やあだツ、やめツ……あ、あツ、ちが、感じてな、

いいつ……！ ああツ、はあツ、はあうツ、はあつ、はあつあ……！

（ああ、あなたにセクハラされるだけで、全身跳ねあがつちやうくらい、

きもちいいツ……！ やめてつやめてくださいツ、ほんとの私がつ、

今にもつ口から飛び出できそう、なのツ……！ なんでかわからない、けど、

ツん、はあー……はあー……なにを、考えてツ……、つへ？

ひあつ！ あツ、あ、そんな汚物ツ、おっぱいに挿まないでよツ……！

近いつ、臭いつ！ こツ、これ以上は怒りますよほんとに怒りますからツ！

今も怒つてますけどツ！ それ以上に怒るんですから！

やめてよッ！ こんなツ、精液まみれのおっぱい写さないで、ううう！

あツ……そ、そんなツ、おっぱいアップでツ、ひイツ！？

ふあツ？ あツ、あツちょツ、激しいツ……やだツ、もつとやさしくしてツ！
いいやツ、使つていいわけじやないツ！ せめてツ乱暴にしないでくださいツ、
そんなツ、あツ、ほんとにオナホみたいにツ……おっぱい壊れちやうツ、
ツヘ？ あツ、やだツ、やだツ、やだツ！ 出さないでツお願いやめてツ、
他のところ、床に出してくださいツ、おっぱいやだツ、あツあツ、あツあツ！

（あつああつあどうしよつどうしよつ、パイズリ済みおっぱいも、
裸もぜんぶ撮られてツ、あツ、教室で顔出し全裸写真ツ、こんなの撮られたら私
ツ、二度と彼に逆らえないツ♥）

ひやあツ！！ あツ、やだツほんとに出し……あ、あ、あつつい、ああツ……！

ひいイツ……！ きつ気持ち悪いツ……！ こねくり回さないでえツ！

……はつ！？ もつもしかして今ツ、録画してる！？
いいいますぐツ、やめなさいツ！ やあツ、こんな姿ツもしバレたら、
変態だつて思われちやう！ 生徒会長つ辞めさせられちやうつ！
いやつ、退学になつちやうよつ！

（ああ、出された、おっぱいにザーメンめつちや出されちやつたツ……
気持ちいいツ、気持ち悪いツ、おっぱいおまんこにされて、ああなんで、
こんな複雑な気分になつちやうの……？
……そ、それにきつと、これじや終わらない、そうだ、私これから、
……レイプされちやうんだ……）

……えつ？ ツ……ほ、ほんとにつ？ 自己紹介すればいいのつ？
でも、本心、とは……？ どういうことですか？ 自己紹介に本心も何も……。
(なに……？ 彼の、あの視線。まるで、すべてを見透かされてるような……。
もしかして……気づかれてる？ 私の本心、ぜんぶバレてる……？？)

ツア、ま、待つてください、やらないとは言つてませんツ……。

本心を……言えればいいんですか？

ほんとに、それで？ 流出させない？ 約束してくれますか？
……わかりました……。

はああツ……、早く、身体洗わせてくださいつ。もうやだ、こんなのやだよ、
ぬるぬるして、ぐちやぐちやして最悪、頭痛がしてきましたツ……。

ツ……何をしてるんですかツ、早く拭くものを持つてきてくださいツ！
……へつ……？？

本心、本心、本心……！

（本心……。ああ、そつか。そういうこと……。
いま、やつとわかりました。

厳肃な生徒会長の私も、

あなたのことがぜんぶ好きな私も、
ひツ！ いやあツ！ やめてツ！ 摄つちやダメえ！

えへへえっ……でも、両手が自由なら、好きなだけあなたの身体を、あなたのちんぽをギュってできちゃう——

ああツ♥ 全ツ然、痛くないです♥ いま、幸せしかつ♥ 感じてません♥
もお、おちんぽ様おやさしい♥ 私のことなんて、切り目を入れたこんにやく、
その程度に見ていただいて構わないんですよお？♥ お仕置きですし♥

ひやあっ！？♥ ああッ、やあんつ♥ えつちいつ♥ つ、机のうえで、セツクスしたいんですか？♥ あはつ……♥

これ、生徒会の会議で使う机なんですよお？ 変態さんですねえ
んつ♥ もおお、あなたの変態っぷりに私、頭ジンジンしちゃつてますよお
んむツ！？ んんつ♥ んつ、ちゅつれおつ、えおつ♥

んんんしゅきい、しゅきい、んんむつ、んつ、んつ、はあツ、
はあツ、はあツ、きしゅ、しゅきい、もつと、もつとおお♥
んんつ！♥ んむつん、んうつ、ふつ、ふつ、んんつ、じゅるつ、
んええつ、んむつ、んつふうう～～、んふうう～～……♥

ぶえ、はああ、はああ、はい、もう生徒会とかどうでもいい～、
あんなおべつか連中知りません、あなただけいればいいもんつ
本心をぶつけてくれるあなたが、だあいすきなお……♥ れろオお♪

おしおきセックスしてください、まだ微かに残ってる私のクソプライド、
それをあなたにぶち壊してほしい。あなたのちんぽで、
私の処女もこころも貫いて、破壊して？♥ お願いいたします――

おちんぽ様あ
♥

ふぐツ！！  おツ……ひツ、ひツ、んぽ、ちんぽツ、おおお……！
ちんぽキたツちんぽツあツ、しゅごツあツ、あーーーツ…… 

あツ ♡ ぐツ ♡ あツ ♡ あ ♡ あツ、あ ♡ ずご、いツ ♡

せつくすツ♥ しゅごいツ♥ これがツほんとの、あなたとのせつくしゅ♥
あなど、が、私のナガツ、いつたり、きだり、あツ♥ あツあがツ♥ はツう♥
ツあツ♥ は、はいツ、ごめんなしゃいツ♥ きもち、すぎてツ、

下品なマンコ声ツ、あツ♥漏れちゃうんですツ♥ちんぽにツオナホ瞳ツ、
こすられるたびツ♥私の中のモノツが♥口から出てきちゃう、のおツ♥
あツ♥あツ♥ああごめんなさいツごめんなじやいいいツ♥
はしたなぐツ、乳オナホ揺らしてごめんなしやいツ♥ふにやあツ♥

全身であなたにツ、チン媚びしてるからツ♥ 無意識に欲情ツ煽っちゃって♥
ああツ、はいツ♥ 私のデカすぎるお乳ツ、あツ♥ あなたのお好きなように、
吸つて、揉んで、犯してくださいツ♥ あツ♥

にやあンツ♥ あなたにツあツ♥ 吸われてツあツヘツ♥ にやヘツ♥
ヽあああヽツ♥ヽあああヽヽツ♥ ギモヂイ いぎもぢい よおお
ヽおうツ♥ んおおツ♥ おふツ♥ はツあなたにツ♥ 犯されるとこツ♥

がツ
♥ うツ
♥ ううウツツ
♥ ううツふうう
♥ んへツへへへ

いつツでも♥ お好きなときにツ、ザーメンコキ捨てしていくだしやいツ♥
ぶっこ抜いてくだしやツ♥ だつてツ私ツ、あなた専用ザーメンタンクツ、

だからあツ

